

<p align="center"><b>アントレプレナーシップ課題研究 II</b> Entrepreneurship Subject Study II</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣、近 勝彦、小関 珠音</p>	
<p>アントレプレナーシップ研究分野 中核科目</p>	<p align="center">演習科目</p>	<p align="center">必修</p>
	<p align="center">3 単位</p>	<p align="center">2018 年度・前期</p>
<p><b>I 科目の主題</b> 課題研究 II では、課題研究 I で作成した事業概要等を踏まえ、事業計画書ないしは創業支援企画書全編の作成を行い、ビジネスプランまたは企画書として完成させる。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b> 市場ニーズを示す客観的なデータの収集や事業コンセプトの明確化、競争優位性を確立する具体的手段の検討、収支計画の作成等を行い、論理的かつ読み手に理解されるビジネスプランの完成を目指す。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b> 課題研究 II はゼミ形式を基本とし、課題の特性や学生の希望等を勘案し、グループ指導と個別指導を組み合わせた形で行われる。学生は指導教員別のゼミに所属し、研究を進める。 学生は期初に、事業計画書等作成に当たっての課題や強化すべき点、その具体的方策等を記載した研究計画書を提出し、各ゼミにおいて内容の妥当性や優先順位等を検討の上、ビジネスプランを作成する。 ゼミでは部分的成果の報告や、課題及び改善点等についてディスカッションを重ね、プランを完成させる。作成した事業計画書等は期末に提出し、後日、アントレプレナーシップ研究分野内で成果の発表を行う。なお、主なゼミの特徴は以下のとおりである。</p> <p><b>【新藤晴臣】</b> 経営環境分析 (Five-Forces)、競争戦略 (価値連鎖)、マーケティング (セグメンテーション、4P)、損益シミュレーションなどの理論を用いて、事業計画を合理的かつ整合的に説明できるよう指導する。</p> <p><b>【近勝彦】</b> 事業計画の基本的なスキームを包括的に学習する。個別的な要因をしっかりと分析・確定するとともに、全体的総合的なバランスを重視したい。</p> <p><b>【小関珠音】</b> 課題研究 I で学んだ各要素について、多角的に、かつ深く考察しつつ、デザイン思考、シナリオプランニング、ストーリーテリングなどの新しい手法や概念を用いて、登場人物としての顧客を巻き込むための仕組み (ビジネスモデル) をつくりあげる。</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b> 各講義では、その日の主題となる事業計画の構成要素について概要をまとめ、前日までに提出する。当日は、与えられた時間内に報告を行い、他の学生及び教員からコメントを得る。次の週までに、前の週に得たコメントをどのように反映するかを検討し、発表内容に反映させる。</p>		
<p><b>V 評価方法</b> 平常点ならびに提出された研究計画書及び事業計画書 (ないしは創業支援企画書) の内容により評価する。 平常点については、ゼミへの出席、報告内容、発言等による貢献度の観点から、研究計画書及び事業計画書等については、主要項目の網羅、論理的妥当性、客観性、構想力、展開力、表現上の工夫、計画の実施状況、向上の度合、努力等の観点から、それぞれ 50 点満点で評価を行う。</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b> 特になし。</p>		
<p><b>VII 教材</b> 特になし。</p>		